

## 平成28年度の年間の活動

### 1. 今までより幅広く活動方針を考える

農園クラブの活動年度は4月～3月となっており、3月に開催される総会に於いて活動の報告や役員を選任などが行われてきた。農園クラブのメンバーは互いの畑仕事で頻りに顔を合わせるので、定例会などを決めて集まらずとも情報交換ができており、必要な時だけ臨時の会合を持っていた。しかし、今回の受賞が決定した後から調査検討費の用途について畑での立ち話では決めることができなくなり、臨時会合を何回も開催し、団地全体に関わる議題を考えるとところから始めなければならなかった。メンバーの中から、緩くつながるところが池田の森の良さなので、それを踏まえて活動を考えたいという意見も上がった。

### 2. 農作業に関する活動

臨時の会合が開かれるなかで、いままで畑での話で終わっていた幾つかの問題を共通の問題として対策を検討することになった。

#### 1) モグラ対策

無農薬有機肥料で栽培するメンバーが多いため、モグラのえさとなるミミズが増え地中の浅いところにトンネルができて根がやられたしまう害が多発。どのような対策があるかそれぞれ研究して次年度に生かす。

#### 2) 病気対策

狭い畑に毎年同じ野菜を栽培することでおこる病気対策。特にナス科野菜に多く、トマトの栽培については、青い果実が赤くなる頃に全滅する被害も近年見られるようになった。いろいろ対策を試みてもなかなかおもわしい成果が見られない。

#### 3) 専門家のアドバイス

農園クラブ設立時に無農薬栽培の心構えなどを聞いて始めたものの、その後はメンバーそれぞれの工夫に任されて菜園作業が行われてきた。そこで連作障害と思われる病害虫被害が出始めたことを契機に、専門家のアドバイスをうけることを決めた。

具体的には、近隣市在住の著名な無農薬米栽培者を訪ね（5月、7月、10月、12月）土作り、肥料作り、病害虫対策、モグラ対策など、無農薬による畑、田んぼ作りのアドバイスを受けた。

#### 4) 知見の共有

専門家のアドバイスやそれぞれの10年間の工夫と知恵を共有するために次年度にはデータベースを作成したいという意見があがった。

### 3. 自然エネルギー街路灯システム

池田の森のメイン緑道の夜間照明の電力は、小型風車とソーラーのハイブリッド発電の電気をバッテリーに蓄電して使用している。くるくる回る小型風車の風景は池田の森のシンボリックな役割をもっているが、その風車を乗せる木柱が経年劣化で危険になったことと、風車の点検をかねて現在撤去され本体の維持保管を電気工事会社をお願いしている。早く本来の姿に戻すべく、耐久性、素材、風合い、色などを考慮して本来の機能をそこなわない再建ができるか、クラブ役員で調査を始めた。

### 4. 農園クラブ掲示板

農園クラブ掲示板がかなり傷んできているので、自主制作するか、外注するか検討した結果、今回は外注することに決まった。

### 5. 他のおもな親睦活動

#### 1) 春のタケノコ掘り

4月に毎年行っているタケノコ掘り。歩いて15分の丘に登るお茶畑の道が気持ちいい。

#### 2) 夏の収穫祭バーベキュー

池田の森一番の親睦行事。クラブメンバー以外の参加も多く、今回は受賞報告を兼ね盛り上がった。



#### 3) 池田の森の市フリマ

毎年春、秋に緑道とアトリエの前庭で開催されている森の市にママグループが出店。子供服、本、小物などが人気。子供たちも売り子の手伝いが楽しい。



## 6. 受賞を機に始めた活動（ワークショップ）

調査検討費をコミュニティのために有効に使うために、今後の樹木の維持管理を見据えて樹木のワークショップを開きながら、「池田の森樹木ガイドブック」を作ることが決まった。

第1回 2016/12/11（日）10:00～11:30

樹木医による街路樹の解説街路樹は全て落葉樹で葉がない時期の今回は、樹形や木肌の特徴を詳しく学んだ。今後、若葉の季節、花の季節、紅葉、実のなる季節ごとに解説を聞く予定。



第2回 2017/1/29（日）10:00～11:30

樹木の名前を書く木札の作成と緑色の防腐塗料を塗る作業。



第3回 2017/2/5（日）10:00～11:30

前週に塗装した板に白いペンキで名前を書く作業。40種計50枚ほど作成。



第4回 2017/2/12（日）10:00～11:00

名札を木につける作業。



# 受賞を契機に新たに取り組んでいること

## 1. 樹木の維持管理

池田の森では団地内の樹木は静岡市の所有となっているものが大半で、基本的な維持管理は市が行なう。私道部分の樹木に関しては全員の共有ではないが、共同管理がこれから必要となってくる。市が管理する樹木の剪定時期や剪定方法について、今まで池田の森としての統一した意見を述べてきていないので、今後は担当課と直接協議する場を設けるよう市に働きかける。

## 2. 樹木の観察会とガイドブック作り

公園の木になる実を食べたり、街路樹の若葉や紅葉を楽しんだりするためにも、まずは住人が樹木について関心を持ってもらうために、樹木の観察会を継続して開催することが決まった。

観察会を通して学んだことをガイドブック作りにつなげて行く。40~50種類もある木を季節ごとに観察会を開催し、まとめるのに2~3年かかる予想。

## 3. 防災

大災害に備えようという意見も出ている。静岡県は東南海地震の甚大な被害が予想されており、池田の森が所属している地元自治会にも防災班が組織されているが、それとは別に池田の森独自の防災を考えようというので、今年から継続協議することになった。

## 4. 親睦イベント

池田の森の緩いつながりが心地よいので、あまり役割を増やして欲しくないという尤もな声もあり、負担にならない楽しい催しを計画しようということになった。

## 調査検討費の使途

- **樹木の維持管理を見据えた樹木ガイドブック作成**（準備期間6月～11月、実施期間12月～2月）
  - ・ 準備作業
  - ・ 観察会・樹名版作成ワークショップ実施費用（材料購入、会場費その他）
  - ・ 専門家派遣依頼費等（打ち合わせ、準備、謝礼等）
- **野菜の病害虫、モグラ対策など無農薬栽培の調査**
  - ・ 研究費の交通費、謝礼、御礼等
- **池田の森自然エネルギー街路灯システム改善研究**
  - ・ 現在2基ある風力とソーラーハイブリッド発電システムの内、1基が稼働停止中に付き、設備撤去、維持保管費用と更新する設備の調査費等
- **池田の森親睦バーベキュー兼受賞報告会**
- **池田の森掲示板更新制作費**
- **農園クラブ活動費、旅費交通費**



## 近い将来取り組まなければならない課題

### 1. 緑道（市道、私道）の維持、管理

住人だけでなくいろいろな人が毎日利用する緑道の自然素材による舗装が劣化し始めている。市道部分は風合いの良い素材を使用しているため改修には市担当課と交渉が必要となる。また私道部分の改修も定期的に必要となる。私道部分の改修費の負担をどうするのか、維持管理費というものがない池田の森の今後の課題である。

### 2. 池田の森としての一体感の維持と安心安全

風通しが良くゆるくつながるコミュニティの一体感をどうやって維持してゆくか。毎日話をする人がいる一方で、なかなか顔をあわせることのない人もいる。池田の森に漂う安全な空気は住人のコミュニケーションが作り出しているため、これからもこの雰囲気維持するために親睦イベントのあり方を工夫したい。

### 3. 防災と安全

池田の森では市の水道が止まってしまうような非常時でも雨水の利用が可能である。ほとんどの家に1.5㎡の雨水が地下貯留されているので、汲みあげる手動ポンプがあれば、飲料以外の色々な利用が可能である。手軽に購入出来るものであれば全戸に備えても良い。

### 4. 池田の森緑地愛護会との連携

農園クラブは池田の森の半数強の世帯からなる組織なので、全体の意見集約や取りまとめには、池田の森緑地愛護会との連携が必要となる。